

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ローランド株式会社

上場取引所 東

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 田村 尚之

TEL 053-523-3652

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	61,476	16.0	5,342	—	5,288	—	1,562	—
25年3月期第3四半期	53,013	△4.3	△252	—	△465	—	△2,714	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,870百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △2,647百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	66.48	—
25年3月期第3四半期	△114.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	81,193	61,531	53.6	1,960.65
25年3月期	77,341	57,749	54.1	1,760.66

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 43,522百万円 25年3月期 41,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,300	16.6	5,800	—	5,600	—	△600 ～△100	—	△25.23 ～△4.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期純利益については、特定数値による予想が困難であるため、レンジ形式で表示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	23,835,796 株	25年3月期	23,835,796 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,638,005 株	25年3月期	50,000 株
----------	-------------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	23,502,813 株	25年3月期3Q	23,786,273 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成26年2月7日(金)に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期累計	増減額	増減率
売 上 高	53,013	61,476	+8,463	+16.0%
電子楽器事業	29,361	31,005	+1,644	+5.6%
コンピュータ周辺機器事業	23,652	30,471	+6,818	+28.8%
営業利益又は営業損失(△)	△252	5,342	+5,595	—
電子楽器事業	△1,166	655	+1,821	—
コンピュータ周辺機器事業	913	4,687	+3,773	+412.9%
経常利益又は経常損失(△)	△465	5,288	+5,754	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,714	1,562	+4,277	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期累計	増減額	増減率
電子楽器	10,957	11,696	+739	+6.7%
ギター関連電子楽器	5,793	5,682	△111	△1.9%
家庭用電子楽器	7,422	8,015	+593	+8.0%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	3,353	3,904	+550	+16.4%
その他	1,834	1,706	△127	△6.9%
電子楽器事業	29,361	31,005	+1,644	+5.6%
コンピュータ周辺機器事業	23,652	30,471	+6,818	+28.8%
合 計	53,013	61,476	+8,463	+16.0%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計	平成 26 年 3 月期 第 3 四半期累計	増減額	増減率
日 本	6,825	6,254	△571	△8.4%
北 米	8,002	8,578	+575	+7.2%
欧 州	8,946	9,860	+914	+10.2%
そ の 他	5,586	6,312	+726	+13.0%
電子楽器事業	29,361	31,005	+1,644	+5.6%
日 本	3,024	3,230	+206	+6.8%
北 米	6,138	8,527	+2,388	+38.9%
欧 州	7,377	10,213	+2,835	+38.4%
そ の 他	7,111	8,499	+1,388	+19.5%
コンピュータ周辺機器事業	23,652	30,471	+6,818	+28.8%
合 計	53,013	61,476	+8,463	+16.0%

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、日本では企業の収益改善ムードを反映して景気は緩やかに回復し、北米においても概ね緩やかな景気回復傾向にありました。欧州は一部に景気の下げ止まりの兆しが見られたものの総じて弱い動きで推移しました。一方、中国をはじめとする新興国では、緩やかな景気拡大が続きました。

このような状況の中、電子楽器事業は、製品別ではドラムや単機能タイプの電子ピアノの新製品が堅調に推移し、一部で持ち直しの傾向が見られたものの、上期において主力製品であるドラム、ピアノ、ギター用エフェクター等が落ち込んだことが響き、当第3四半期連結累計期間では、実質的には前年同期を下回る結果となりました。

地域別では、日本の低迷が続く中、北米や欧州では下げ止まりの兆しが見られましたが、上期の落ち込みが響き、日本、北米、欧州の主力市場は、当第3四半期連結累計期間において実質的に前年同期を下回る結果となりました。その他地域では、中南米では景気後退により販売減となったものの、豪州やアジアでは上期に引き続き好調に推移したことにより、地域全体では前年同期を上回りました。

結果、売上高は、実質的には前年同期を下回ったものの、円安の影響により310億5百万円（前年同期比5.6%増）となりました。利益面では、事業構造改革の一環として前期末に実施した人員削減や経費削減等に加え、円安の影響もあり、営業利益は6億55百万円（前年同期は11億66百万円の営業損失）となりました。

コンピュータ周辺機器事業では、主力品目であるプリンターやサプライにおいては、前期及び当期に投入した大型インクジェットプリンターの新製品が牽引し売上を伸ばしました。また、工作機器もデンタル加工機が堅調に推移しました。

地域別では、北米や欧州においてはプリンターの新製品が好調だったことに加え、円安の影響もあり、大幅に伸ばしました。アジアにおいては、中国で現地のサイン製作のニーズに対応した大型インクジェットプリンターやデンタル加工機が堅調に推移しました。その他地域では、オーストラリアや中南米での販売が好調に推移しました。

結果、売上高は、円安の影響もあり、304億71百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益は、販売費及び一般管理費は増加したものの、原価率の改善等により、46億87百万円（前年同期比412.9%増）となりました。

以上の結果、全体の売上高は、614億76百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は53億42百万円（前年同期は2億52百万円の営業損失）、経常利益は52億88百万円（前年同期は4億65百万円の経常損失）となりました。また、最終損益は、税費用や少数株主への利益振替等により、15億62百万円の四半期純利益（前年同期は27億14百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における平均為替レート（※）は、97円/米ドル（前年同期79円）、127円/ユーロ（前年同期102円）でした。

（※）海外連結子会社の事業年度は1～12月のため、平成25年1月～平成25年9月の平均レートとなります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

【電子楽器事業】

[電子楽器]

ステージ用ピアノとステージ用オルガンは、それぞれ新製品が貢献し前年同期を上回りました。ドラムは、折りたたみ可能なポータブル型の製品が好調に推移し、持ち直しの傾向が見られたものの、当第3四半期連結累計期間においては上期の落ち込みを補えず、実質的には前年同期を下回る結果となりました。シンセサイザーは、昨年発売した歴代音色を搭載した音源モジュールが好調を持続したものの、主力既存製品が北米や中南米を中心に大幅減となりました。結果、電子楽器の売上高は、実質的には販売減となりましたが、円安の影響もあり、116億96百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

[ギター関連電子楽器]

ギター用エフェクターは、前期に発売した新技術搭載のコンパクト・エフェクターやループ機能を搭載した新製品が堅調に推移しましたが、市場競争の激化により既存製品が前年同期を下回りました。ギター・シンセサイザーは、前期に発売した新製品の反動により大幅に減少しました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は、56億82百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

[家庭用電子楽器]

自動伴奏機能付きキーボードは、上期に引き続き好調に推移し前年同期を上回りました。上期において前年同期比マイナスだったアコーディオンは、当期投入した新製品が欧州で好調に推移したことによりプラスに転じました。上期において前年同期を下回っていた電子ピアノは、日本で単機能タイプの新製品が貢献し持ち直しの傾向が見られたものの、日本、北米、欧州等、主力市場における上期の落ち込みを補えず、当第3四半期連結累計期間においては前年同期を下回りました。結果、家庭用電子楽器の売上高は、実質的には販売減となりましたが、円安の影響もあり、80億15百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

[映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

コンピュータ・ミュージック機器は、パソコン用のオーディオ・インターフェースや入力用鍵盤機器が前年同期を上回ったものの、音楽用ソフトウェアは前年同期を下回りました。上期において前年同期を下回っていた映像機器や音響機器は、映像向けのスイッチャーやミキサーの新製品が好調だったことに加え、iPadに対応した音響ミキサーが堅調に推移したことによりプラスに転じました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、39億4百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

[その他]

通信カラオケ機器用音源は、アジアで好調に推移したものの日本で減少し、前年同期を下回りました。また、音楽教室は、少子化による生徒数の減少等により前年同期を下回りました。結果、その他の売上高は、17億6百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

以上の結果、電子楽器事業の売上高は、310億5百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、主力のサイン市場に向けた大型インクジェットプリンターの新製品が、既存ユーザーの買い替え需要を中心に好調に推移しました。また、出力スピードを高めた新製品は、大手サイン業者を中心に順調に販売を伸ばしました。さらに、優れた出力品質と低価格を両立したプリンターや、スマートフォンやノベルティ等へ直接印刷可能なUVプリンターも順調な販売となりました。

工作機器は、製造業等のものづくり分野に向けた、主力の切削加工機が堅調に推移しました。また、デンタル加工機は、義歯の製作プロセスをトータルソリューションとして提案できる体制づくりや、販売網の開拓・整備が着実に進んだことが奏功し、北米や欧州のほか、中国や日本においても販売が拡大しました。

サプライ品は、プリンターの販売が好調だった北米、欧州を中心にインクの販売が増加しました。

以上の結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、304億71百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末と比較して 38 億 52 百万円増加し、811 億 93 百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が 4 億 51 百万円減少した一方、現金及び預金が 13 億 49 百万円、受取手形及び売掛金が 8 億 17 百万円、原材料及び貯蔵品が 3 億 33 百万円、未収金等を含むその他流動資産が 14 億 48 百万円それぞれ増加し、また在外関係会社の前会計年度末である平成 24 年 12 月末から第 3 四半期会計期間末である平成 25 年 9 月末にかけての主要国通貨に対する円安進行を受け、在外関係会社における財務諸表の円換算額が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して 70 百万円増加し、196 億 62 百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が 8 億 64 百万円、賞与引当金が 2 億 99 百万円それぞれ減少した一方、未払法人税等が 6 億 53 百万円及び上述の円安進行による円換算額が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 37 億 82 百万円増加し、615 億 31 百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得が 20 億 54 百万円及び剰余金の配当が 2 億 97 百万円あった一方、上述の円安進行により為替換算調整勘定が 22 億 24 百万円増加し、また四半期純利益が 15 億 62 百万円あったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して 0.5 ポイント減少し、53.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績については、平成 25 年 11 月 6 日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,450,652	18,800,485
受取手形及び売掛金	10,246,794	11,064,765
有価証券	—	92,302
商品及び製品	16,271,365	15,819,728
仕掛品	329,303	400,069
原材料及び貯蔵品	4,282,421	4,616,377
その他	3,524,560	4,972,818
貸倒引当金	△351,537	△377,464
流動資産合計	51,753,561	55,389,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,284,444	21,882,819
機械装置及び運搬具	3,136,187	3,280,602
工具、器具及び備品	11,187,949	11,741,300
土地	8,147,553	8,278,556
建設仮勘定	128,324	166,797
減価償却累計額	△25,919,745	△27,348,217
有形固定資産合計	17,964,712	18,001,858
無形固定資産		
のれん	843,326	854,003
ソフトウェア	831,965	911,766
ソフトウェア仮勘定	163,462	210,060
その他	151,537	142,429
無形固定資産合計	1,990,292	2,118,259
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908,565	2,227,842
その他	3,887,672	3,675,084
貸倒引当金	△163,800	△218,395
投資その他の資産合計	5,632,437	5,684,531
固定資産合計	25,587,442	25,804,649
資産合計	77,341,003	81,193,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,660,144	2,779,641
短期借入金	4,316,106	3,451,424
1年内返済予定の長期借入金	403,648	403,293
未払法人税等	304,311	958,045
賞与引当金	1,068,482	769,262
役員賞与引当金	—	75,000
製品保証引当金	397,768	463,193
その他	5,747,281	5,838,638
流動負債合計	14,897,744	14,738,499
固定負債		
長期借入金	603,207	401,303
繰延税金負債	568,563	669,217
再評価に係る繰延税金負債	164,155	164,155
退職給付引当金	809,152	872,022
その他	2,548,920	2,817,062
固定負債合計	4,693,999	4,923,760
負債合計	19,591,744	19,662,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,800,378	10,800,378
利益剰余金	27,569,796	28,830,824
自己株式	△50,141	△2,104,986
株主資本合計	47,594,306	46,800,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,620	433,598
土地再評価差額金	△1,453,231	△1,449,019
為替換算調整勘定	△4,487,969	△2,262,991
その他の包括利益累計額合計	△5,715,579	△3,278,412
少数株主持分	15,870,532	18,009,395
純資産合計	57,749,259	61,531,471
負債純資産合計	77,341,003	81,193,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	53,013,758	61,476,949
売上原価	31,790,593	32,862,412
売上総利益	21,223,165	28,614,537
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	2,124,013	2,209,762
貸倒引当金繰入額	134,294	39,665
給料及び賞与	10,431,641	11,283,212
賞与引当金繰入額	241,338	353,222
役員賞与引当金繰入額	—	75,000
製品保証引当金繰入額	161,929	198,216
その他	8,382,087	9,112,547
販売費及び一般管理費合計	21,475,304	23,271,627
営業利益又は営業損失(△)	△252,139	5,342,910
営業外収益		
受取利息	57,941	70,500
受取配当金	43,524	49,496
為替差益	50,215	131,046
その他	132,109	242,786
営業外収益合計	283,791	493,830
営業外費用		
支払利息	46,234	61,759
売上割引	387,507	416,556
その他	63,388	69,893
営業外費用合計	497,129	548,209
経常利益又は経常損失(△)	△465,477	5,288,531
特別利益		
固定資産売却益	31,162	26,473
投資有価証券売却益	3,733	—
関係会社清算益	1,802	—
関係会社株式売却益	—	160,871
特別利益合計	36,698	187,344
特別損失		
固定資産除売却損	70,613	21,414
投資有価証券売却損	243	—
出資金評価損	—	202,055
事業構造改革費用	1,398,313	—
特別損失合計	1,469,169	223,470
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,897,949	5,252,405
法人税、住民税及び事業税	579,523	1,759,588
法人税等調整額	148,640	△95,099
法人税等合計	728,163	1,664,488
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,626,113	3,587,916
少数株主利益	88,729	2,025,355
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,714,842	1,562,560

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,626,113	3,587,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,661	210,293
土地再評価差額金	22,617	—
為替換算調整勘定	△53,203	3,072,310
その他の包括利益合計	△20,923	3,282,603
四半期包括利益	△2,647,036	6,870,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,761,866	3,995,516
少数株主に係る四半期包括利益	114,829	2,875,003

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月12日開催の取締役会決議に基づき、平成25年11月13日に1,587,900株、2,054,742千円の自己株式を取得しました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	29,361	23,652	53,013
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	29,361	23,652	53,013
セグメント利益又は損失(△)	△1,166	913	△252

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	31,005	30,471	61,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	31,005	30,471	61,476
セグメント利益	655	4,687	5,342

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。